

330MD 2017 Annual Meeting Focus session

マーケティング・コミュニケーション委員会

地区ニューズ誌 発行について

(330-A 広報情報委員会 委員長 L 赤尾 嘉晃・東京豊新LC所属)

地区ニュース誌 発行について

100年祭



- ①地区ニュース発行の目的・意義について
- ②LC内部・外部への情報収集・発信手法について
- ③記事編集の方向性と委員会スキルアップについて
- ④今後の小冊子の取り扱いと、電子版普及について

①地区ニュース発行の目的・意義について

◆地区ニュースの発行は「何のために」「誰を対象」なのか

- ・クラブの活動内容を共有し、
キャビネットの方向性を発信するため
- ・メンバーとその家族、入会候補者、
事業協力団体を対象としている

◆発行の意義とは

- ・各年度の活動記録を残し、
定期的に発行、発信することに意義がある



②LC内部の情報収集、 内部、外部への発信手法について-1

◆LC内部の情報収集について

- ・すべてのクラブに掲載の機会を設けている（普遍性）
- ・クラブ・委員会からホームページ「投稿」を促している
- ・フレッシュな記事が集まる、仕組みの整備ができている（ニュース性）

◆年間6回発行、4回が小冊子、残り2回が電子版

<http://www.lions-news.com/>



②LC内部の情報収集、 内部、外部への発信手法について-2

◆LC内部（メンバー）への発信手法として

- ・小冊子発行の1週間前に、電子版閲覧可の告知（訪問数 約400/M）
- ・クラブ事務局へメールにて配信、クラブ三役へ拡散依頼
- ・小冊子は、ライオン誌に同封、確実にメンバーに届く

◆外部への発信手法として

- ・アクティビティ参加団体へEメールにて電子版URLを配信
- ・小冊子の追加オーダー受付を行っている、
参加団体へ実物配布の機会づくり

まかせろ！



③記事編集の方向性と 委員会のスキルアップについて

◆記事編集の方向性について（6月～7月上旬）

- ・ 次期ガバナーの基本方針を委員会で共有して理解を深めている
- ・ 例) 表紙のシリーズ化、特集の組み方、インタビューテーマ等の選定



◆スキルアップについて（外部講師による勉強会開催）

- ・ 「昨今のコミュニケーションとその手段について」 602inc 蝶野 氏
- ・ 「短い文章の書き方と見出しの重要性」 元林業新聞社 松澤 氏
- ・ 「ねえねえ聞いて！読まれる文章の書き方」 元阿部公房スタジオ 佐藤 氏

④今後の小冊子の取り扱いと 電子版普及について-1

◆小冊子のデジタル化について

- ・ ニュース受け手側の設備環境、習慣を考慮して穏やかに移行の方向か
- ・ スキルアップセミナー「いまさら聞けないデジタル化って何？編」開催へ
- ・ 若い世代へは、電子版の方が、早く伝わり易い情報である

◆小冊子の役割

- ・ クラブやメンバーが掲載された場合、
モチベーションUPにつながる
- ・ 小冊子到着後の追加オーダー数は、
掲載クラブ、インタビュー人数に比例している



④今後の小冊子の取り扱いと 電子版普及について-2



◆電子版普及について

- ・ HPは今や資料棚的に利用され、
電子版をタグ、リンクに貼り付けただけでは普及は困難
- ・ FB等と同様のお知らせ機能（新着）が充実していること
- ・ メンバーの希望者全員へ
ニュースリリース情報配信の仕組みを整備していく

◆スマホ、iPad対応として、アプリの作成へ

- ・ 電車移動中や空き時間に訪問してもらえるよう
事業予告・報告などの発信性を高めていく

330MD 2017 Annual Meeting Focus session

マーケティング・コミュニケーション委員会

地区ニュース誌 発行について

ご清聴ありがとうございました

(330-A 広報情報委員会 委員長 L 赤尾 嘉晃・東京豊新LC所属)

Yokohama.5.14.2017